



STANDARD  
TOKYO

2023年8月8日

各 位

会社名 株式会社セブテーニ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀  
(東証スタンダード コード番号 4293)

## 2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年9月期通期決算発表時に開示しました2023年12月期通期(2022年10月1日～2023年12月31日)の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 2023年12月期通期連結業績予想(2022年10月1日～2023年12月31日)

	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 42,500	百万円 7,500	百万円 5,950	円 銭 28.42
今回発表予想(B)	<b>36,700</b>	<b>4,200</b>	<b>3,650</b>	<b>17.53</b>
増減額(B-A)	△5,800	△3,300	△2,300	—
増減率(%)	△13.6	△44.0	△38.7	—
前期実績 (2022年9月期通期)	28,819	5,855	5,734	30.54

(注) Non-GAAP 営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

### 2. 修正の理由

メディアプラットフォーム事業においてはIPプラットフォーム事業の高成長がけん引し、概ね期初の想定通りの進捗である一方、主力のデジタルマーケティング事業において、リオープンに伴う需要動向、事業環境の変化により、特に第2四半期の後半から第3四半期にかけてマイナス影響が顕在化しております。その結果として、中期的な成長のための人的投資強化によるコストの増加を吸収することができず、収益、Non-GAAP 営業利益、および親会社の所有者に帰属する当期利益において、期初の見通しから乖離が生じております。これらの状況を踏まえ、2022年11月10日に公表した2023年12月期通期の連結業績予想を下方修正いたします。

一方、足元の対策としては、新規顧客獲得の強化やコストの見直しをはじめとした環境適応のための各種施策を実行しております。これらの施策によって、業績反転の目処が立ち始めていることが確認できており、この度の連結業績予想の修正におきましては、第4四半期における増収及び第5四半期における増益転換を見込んでおります。

(ご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

■本件に関するお問合せ先

経営企画部 I R 課 E-mail: [ir@septeni-holdings.co.jp](mailto:ir@septeni-holdings.co.jp)